

2018（平成30）年度 事業報告書

公益財団法人日本ハンドボール協会

1. 競技力向上に関する事業

1) 強化関連会議・施策など

強化委員会 8回/年（メール会議含む）

協働コンサルテーション会議（スポーツ庁・日本スポーツ振興センター（以下「JSC」）・日本オリンピック委員会（以下「JOC」）・日本ハンドボール協会（以下「JHA」）2回/年

※「2020・24強化戦略プラン」を改訂し、スポーツ庁・JSC・JOCと共有

※海外移籍選手の支援

（部井久→Cesson Rennes（フランス）、藤田→Borussia Dortmund（ドイツ））

※「Japan Cup 2018」の実施（男子はドイツ、女子はポーランドを招聘）

「インターナショナルマッチ」の実施（男子ブラジル代表を招聘）

「おりひめトライアルゲームズ2018」の実施（ニュークビンファルスターを招聘）

以上の国際試合（国内開催）を通じて国際経験を蓄積したことに加え、世界選手権開催のシミュレーションを実施

※2019年度強化スタッフを選定（強化・情報科学・体力科学・医事委員会との協働）

※2019年度強化スケジュールを作成

※2018年度「JOC強化指定選手」第2四半期～第4四半期の選出、JOCへの提出

※2019年度「JOC強化指定選手」第1四半期の選出、JOCへの提出

2) 国際大会・国際交流親善試合

チーム名	大会名	日程	場所	結果
男子代表	JAPAN CUP 2018	6/13-6/16	日本・徳島県、東京都	GER37(21-11, 16-13)24JPN GER31(18-09, 13-13)22JPN
女子代表	JAPAN CUP 2018	6/23	日本・群馬県	JPN 26(11-13, 15-07)20 POL
男女代表	日韓定期戦 2018	6/25	韓国・ソウル	男 KOR25(14-09, 11-09)18JPN 女 KOR27(14-09, 13-11)20JPN
男子代表	インターナショナルマッチ	6/29-6/30	日本・東京都	BRA32(16-13, 16-18)31JPN BRA31(16-15, 15-14)29JPN
女子U-20	第21回女子ジュニア世界選手権	7/1-7/14	ハンガリー	優勝:HUN、2位:NOR、3位:KOR 14位 JPN
男女U-22	第6回東アジアU-22選手権	7/03-7/8	香港・九龍	男 優勝:KOR、2位:JPN、3位:TPE 女 優勝:KOR、2位:JPN、3位:CHN
男子U-21	第16回男子ジュニアアジア選手権	7/16-7/26	オマーン ・サララ	優勝:KOR、2位:JPN、3位:BHR
男女U-24	第24回世界学生選手権	7/30-8/5	クロアチア ・リエカ	男 優勝:KOR、2位:CRO、3位:JPN 女 優勝:JPN、2位:BRA、3位:KOR
女子代表	おりひめ JAPAN トライアルゲームズ2018	8/05-8/8	日本・熊本県	—
女子U-18	第7回女子ユース世界選手権	8/07-8/19	ポーランド	優勝:RUS、2位:HUN、3位:KOR 14位 JPN
男女代表	第18回アジア競技大会	8/13-8/31	インドネシア ・ジャカルタ	男 優勝:QAT、2位:BRN、3位:KOR、 4位:JPN 女 優勝:KOR、2位:CHN、3位:JPN
男子U-19	第8回男子ユースアジア選手権	9/16-9/26	ヨルダン ・アンマン	優勝:BRN、2位:JPN、3位:TPE
女子U-16	第22回日韓スポーツ交流	10/02-10/10	韓国・昌原	KOR 23(10-07, 13-11)18 JPN
男子U-16	日韓スポーツ交流 2018	10/02-10/07	韓国・昌原	JPN 17(11-08, 06-06)14 KOR

女子U-16	第22回日韓スポーツ交流	10/10-10/15	日本・熊本県	JPN 23(10-13, 13-10)23 KOR
男子U-16	日韓スポーツ交流 2018	10/18-10/23	日本・愛知県	KOR 26(14-08, 12-08)16 JPN
女子代表	第17回女子アジア選手権	11/30-12/9	日本・熊本県	優勝:KOR、2位:JPN、3位:CHN
男子代表	4 Nations Cup 2018	12/28-12/29	ポーランド ・オポーレ	優勝:POL、2位:ROU、3位:JPN
男子代表	Yellow Cup 2019	1/4-1/6	スイス ・ヴィンタートゥール	優勝:TUN、2位:SUI、3位:POR 4位 JPN
男子代表	第26回男子世界選手権	1/10-1/27	ドイツ、デンマーク	優勝:DEN、2位:NOR、3位:FRA 24位 JPN

3) 海外強化合宿

チーム名	事業名	日程	場所	参加人数計(選手、スタッフ)
男子代表	欧州遠征A	4/2~4/9	オランダ	21名(選手16名、スタッフ5名)
女子代表	欧州遠征A	5/31~6/14	デンマーク	24名(選手18名、スタッフ6名)
男子U-21	第2回強化合宿	6/17~6/22	カタール	22名(選手18名、スタッフ3名)
女子代表	欧州遠征B	7/16~7/30	デンマーク	22名(選手16名、スタッフ6名)
男子代表	欧州遠征B	7/24~8/9	ドイツ	21名(選手15名、スタッフ6名)
男子U-19	アジアユース直前強化合宿	9/8~9/12	バーレーン	20名(選手15名、スタッフ5名)
女子代表	欧州遠征C	9/24~10/2	オランダ	21名(選手15名、スタッフ6名)
男子代表	欧州遠征C	10/15~10/29	フィンランド、 スウェーデン	24名(選手18名、スタッフ6名)
女子代表	欧州遠征D	3/18~3/26	ハンガリー	23名(選手16名、スタッフ7名)

4) 国内強化合宿(男女日本代表)

チーム名	場所	日程	参加人数(役員・選手)
男子代表	第1回 ANTC	5/30~7/1	28名(選手21名、スタッフ7名)
	第2回 ANTC	12/11~12/25	31名(選手21名、スタッフ10名)
	第3回 ANTC	3/19~4/6	35名(選手25名、スタッフ10名)
女子代表	第1回 ANTC	4/23~4/30	30名(選手21名、スタッフ9名)
	コンディショニング クリニック	5/23~5/27	48名(選手27名、スタッフ21名)
	第2回 ANTC	6/14~6/22	30名(選手23名、スタッフ7名)
	第3回 ANTC	7/30~8/4	24名(選手18名、スタッフ6名)
	第4回 ANTC	11/13~11/28	34名(選手26名、スタッフ8名)

(注) ANTC…味の素ナショナルトレーニングセンター

5) 国内強化合宿（男女アンダー日本代表）

チーム名	場 所	日 程	参加人数(役員・選手)
男子U-24	第1回 ANTC	6/1～6/3	30名 (選手24名、スタッフ6名)
	第2回 ANTC	6/21～6/24	22名 (選手19名、スタッフ3名)
男子U-21	第1回 ANTC	5/21～5/26	37名 (選手19名、スタッフ8名)
	第3回 ANTC	7/06～7/11	27名 (選手18名、スタッフ9名)
	第4回 ANTC	12/19～12/21	34名 (選手25名、スタッフ9名)
	第5回 ANTC	3/20～3/21	30名 (選手22名、スタッフ8名)
男子U-19	第1回 大同特殊鋼	4/23～4/26	30名 (選手23名、スタッフ7名)
	第2回 ANTC	6/28～7/1	26名 (選手18名、スタッフ8名)
	第3回 トヨタ車体	8/8～8/10	22名 (選手17名、スタッフ5名)
	第4回 ANTC	9/6～9/8	25名 (選手18名、スタッフ7名)
	第5回 中部大学	3/7～3/10	22名 (選手18名、スタッフ4名)
女子U-24	第1回 北陸高校	5/25～5/29	26名 (選手21名、スタッフ5名)
	第2回 ANTC	6/19～6/22	21名 (選手14名、スタッフ7名)
	第3回 大阪体育大学	7/22～7/23	17名 (選手14名、スタッフ3名)
女子U-20	第1回 北陸高校	5/25～5/29	24名 (選手2名、スタッフ4名)
	第2回 大阪体育大学	6/24～6/25	24名 (選手18名、スタッフ6名)
	第3回 大阪体育大学	2/19～2/22	19名 (選手16名、スタッフ3名)
女子U-18	第1回 ANTC	4/18～4/22	25名 (選手20名、スタッフ5名)
	第2回 ANTC	5/9～5/13	25名 (選手20名、スタッフ5名)
	第3回 ANTC	6/29～7/2	24名 (選手18名、スタッフ6名)
	第4回 ANTC	8/2～8/3	24名 (選手18名、スタッフ6名)
	第5回 大阪体育大学	2/19～2/22	28名 (選手25名、スタッフ3名)

6) その他

実施時期	概要	場所	参加人数等
06/16	トレーナーブロック長会議	ANTC	スタッフ19名
06/16	医事専門委員会、アンチ・ドーピング特別委員会合同会議	ANTC	総数15名
06/17	トレーナー総会	ANTC	参加者総勢102名
03/02	情報科学専門委員会全体会議	日本体育大学	スタッフ21名
03/03	医事専門委員会、アンチ・ドーピング特別委員会合同会議	日本体育大学	総数16名

7) 日本代表チーム

- (1) 男子代表は5月に「ワイルドカード」として第26回男子世界選手権の出場権を得て、1月にドイツ・デンマークで開催された本大会へ出場。第24位で大会を終えた。8月に開催された第18回アジア競技大会では、第4位となりメダル獲得とはならなかった。
- (2) 女子代表は8月に開催された第18回アジア競技大会において、第3位となり銅メダルを獲得した。12月に熊本で開催された第17回女子アジア選手権において、決勝進出を果たしたものの、韓国に敗れ第2位であった。

8) アンダー日本代表チーム

- (1) 男子については、本年度はアジアでのチャレンジであった。
U19代表は第8回男子ユースアジア選手権において第2位となり、世界選手権の出場権を獲得。U21代表も第16回男子ジュニアアジア選手権において第2位となり、世界選手権の出場権を獲得。U24代表は第24回世界学生選手権において第3位となり、初のメダル獲得となった。
- (2) 女子については、本年度は世界へのチャレンジであった。
U18代表が第7回女子ユース世界選手権において、決勝トーナメント進出を果たし、第14位であった。U20代表も第21回女子ジュニア世界選手権において、決勝トーナメント進出を果たし、第14位で大会を終えた。U24代表は第24回世界学生選手権において、準決勝で韓国、決勝でブラジルに勝利して見事「優勝」の栄冠を獲得した。
- (3) 強化合宿については当初計画に基づき実施。

9) 分析活動（情報科学専門委員会）

- (1) 男子代表については、JAPAN CUP、日韓定期戦、第18回アジア競技大会、第26回世界選手権大会とすべての大会にアナリストが帯同し、試合の撮影や分析サポートを実施。また、国内合宿においては、チームサポートとともにSidelineを使用してのPlaybook作成を実施。大会中はスタッフのリクエストに対する映像編集作業が中心となり、トレーニング中は映像撮影を主な作業として活動。トレーニング中に撮影された映像はSidelineを利用して、スタッフ・選手とのコミュニケーションツールとして活用。
- (2) 女子代表については、JAPAN CUP、日韓定期戦、第18回アジア競技大会、第17回アジア選手権大会、そして国内合宿・海外遠征とすべての活動のサポートを実施。トレーニング中の映像撮影による選手へのフィードバックや戦術の理解、個々のスキル改善等、多岐に渡る活動を実施。海外遠征、大会等においては、定量分析・定性分析を行い、相手チームの戦術分析や個々の特徴の整理、自チームの戦術分析等に活用。
- (3) アンダー日本代表チームにおいては、第21回女子ジュニア世界選手権大会、第16回男子ジュニアアジア選手権大会、第24回世界学生選手権大会、第7回女子ユース世界選手権大会、第8回男子ユースアジア選手権大会にアナリストが帯同。自チームと相手チームに対する分析を行うとともに、各国の情報収集および情報の蓄積を図った。分析内容は、定量分析・定性分析を行い、スタッフ・選手間の情報共有を図った。
- (4) また、人材育成の観点で若手アナリストを登用。国内開催の国際大会を通じ、実戦経験を積ませてスキルアップを図るとともに、チームスタッフとのコミュニケーションを向上させるなど大きな実績を残した。

10) 体力サポート活動（体力科学専門委員会）

- (1) 体力科学専門委員会が実施してきた体力向上事業は、特にジュニア選手の新体力データベース作成・基準づくり・現場運用を進めてきた。最もトレーナビリティが期待されるジュニア期の体力について全国レベルで把握し、その性別・年齢別に規準グレードを示すことは、適切な選手育成とチーム力強化に寄与すると思われる。事業の具体は以下の通りであった。
- (2) ジャパンライジングスタープロジェクト
(競技転向型のタレント選手の体力測定（選考測定と定期測定）、体力トレーニング指導) JHA（発掘委員会）、日本スポーツ協会（以下「JSP0」）、熊本県体育協会、熊本県協会と連携し、体力測定内容の検討、測定実施、結果検討、トレーニング活用を進めた。
- (3) NTS トレーニングでの体力測定と体力新基準づくり
JHA（NTS 委員会）と連携し、NTS 全国ブロックトレーニング実施時に体力測定を行った。NTS 内容策定委員会との協議により測定項目を決定し、全国の小学校5年生から高校2年生までの約800名に対して行った。得られた結果を本委員会で分析し、年齢別、性別、ブロック別等の集計結果（体力レベルの特徴・基準グレードの提示）をNTS 連絡会議、情報科学・体力科学委員会会議、強化育成戦略会議上で発信した。
なお、NTS センタートレーニング参加者、NTA アカデミー参加者（アカデミー委員会と連携）の体力レベルにおいても同様に集計分析し、選手レベル別比較検討も行っている。
- (4) 体力科学専門委員会に医事委員会トレーナー部会から3名の専門家を委員として配置することで、ハンドボール選手の体力獲得に対してより多角的な分析を進める準備ができつつある。このような活動から、ジュニア期からの強化パスウェイに沿った体力値・トレーニングガイドラインの作成を目指す。

11) 医事活動および医科学調査研究(医事専門委員会)

- (1) 医事専門医委員会／アンチ・ドーピング特別委員会合同会議
第1回 医事専門委員会（6/16、ANTC、出席委員15名）
 - ① 2018年度帯同ドクター予定
 - ② アンチ・ドーピング関連
 - ③ メディカルガイドラインについて
 - ④ おりひめメディカルクリニックについて
 - ⑤ トレーナー部会からの報告
 - ⑥ 東京2020での医事体制について
第2回 医事専門委員会（3/3、日本体育大学世田谷キャンパス中会議室、出席委員14名
オブザーバー1名 協会事務局1名）
 - ① 2018年度帯同ドクター報告
 - ② アンチ・ドーピング関連
 - ③ メディカルガイドラインの報告
 - ④ マウスガードの取組みについて
 - ⑤ 栄養部会からの報告
 - ⑥ 熊本世界選手権・東京2020における医事体制について
 - ⑦ その他（医事委員会webサイト、スポーツドクターの推薦など）
- (2) トレーナー部会ブロック会議（6/16、ANTC研修室）
 - ① 北信越インカレ報告
 - ② NTSでのBASIC7実施要項について
2018年度はインストラクター（トレーナー部会員）が各ブロックで実施

2019年度以降はブロック委員長を中心に各ブロックで実施予定（8月下旬見込）

③ 認定資格制度の検討

④ BASIC7の実技講習

【ブロック委員】アドバイザー：佐久間、会長：高野内、副会長：永井

（敬称略） 監査：浦辺、総務：飯田・岩谷

日本代表：高野内（兼任）・飯田（兼任）、日本リーグ：村田、木村（兼任）、

大学：永井（兼任）・花岡、高校：市川・尾中、北海道：菊池、

東北：山内、関東：田村耕一郎、東海：河野、北信越：木村、

関西：酒本、中四国：山下、九州：時任

(3) 第5回ハンドボール部会トレーナー総会（6/17、ANTC研修室、参加者 102名）

① NTSにおける育成の取組み～トレーナー部会との連携～

JHA NTS 内容策定委員長 麻生薫氏

② 平昌オリンピックにおける栄養サポート

味の素(株)ビクトリープロジェクト 上野祐輝氏

③ ドーピングに関する最新情報 JHA 医事委員 貝沼圭吾氏

④ Functional Movement Screen を活用した強化への取組み

Best Performance Laboratory 代表 桂良太郎氏

⑤ なでしこリーグにおける選手育成の取組み

元 INAC 神戸トレーナー 石丸裕美氏

⑥ ハンドボールにおける傷害と競技特性～育成・強化における課題～

JHA 医事委員 丸箸兆延氏

(4) 第7回日本ハンドボール学会（3/3、日本体育大学世田谷キャンパス）

① 春の全国中学生ハンドボール大会6年間の傷害発生の検討：浅井一希氏、北岡克彦氏、丸箸兆延氏

② 高校ハンドボール選手における傷害の実態：眞下苑子氏、大西信三氏 他

③ 大腿打撲による四頭筋損傷・血腫の対応一軽く考えてはいけない「ももかん」がある：生天目修平氏、大西信三氏 他

(5) 2018 おりひめジャパンコンディショニングクリニック（5/23～26、ANTC）

おりひめジャパン候補選手 30名

① ハンドボールに関する各種測定（フィールド測定・筋力測定等）

② 操作機能評価と修正トレーニング・競技スキル

③ バランスチェック・傷害調査・セルフコンディショニングツール（ONE-TAP）

④ 栄養指導・ドーピング指導・メンタル指導・行動規範指導

(6) アンチ・ドーピング啓発事業

① 全国高等専門学校選手権大会（8/20～22、那覇市）

② 第17回女子アジア選手権（12/7～9、熊本市）

(7) ジャパンライジングスタープロジェクト

第3ステージ・第2ステップ（2期生：1年次第2クール）拠点県合宿（1/5、熊本県 山鹿市）

演題名：「栄養と女性の体」 JHA 医事委員栄養部門 村井美保子氏

(8) JSPO 公認スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー受講者推薦

12) 強化部会

- (1) 男女強化部会長の積極的な現場視察により、会議体は開催しなかったものの現場サイドでの情報共有ができ、加えて男女間での情報共有も図られるようになった。男女スタッフによるコーチシンポジウムでの取組みに関する報告を行い、情報発信を実施。

2. 指導・普及事業

<発掘部>

《NTS委員会》

1) ナショナルトレーニングシステム (NTS)

実施時期	概要	場所
4/21～22	第1回運営会議	大同特殊鋼 星崎工場
4/21～22	第1回指導内容策定会議	大同特殊鋼 星崎工場
5/26～27	ブロックトレーニングシミュレーション	ANTC
8月～10月	ブロックトレーニング	全国9ブロック
11/24～25	センタートレーニングシミュレーション	愛知製鋼体育館
11/24～25	第2回運営会議	愛知製鋼体育館
1/4～6	センタートレーニング (U-16) 参加者：男子39名、女子44名、スタッフ64名、 補助指導者35名	ANTC
1/12～14	センタートレーニング (U-13) 参加者：男子30名、女子31名、スタッフ65名、 補助指導者37名	ANTC
2/24	第2回指導内容策定会議	ANTC

《アカデミー委員会》

2) ナショナルトレーニングアカデミー (NTA)

実施時期	概要	場所
5/11～13	第1回育成合宿 参加者：選手68名	ANTC
7/3～5	第2回育成合宿 参加者：選手80名	ANTC
8/2～6	第1回大会視察 (全国小学生大会)	京都府京田辺市
8/13～16	第2回大会視察 (全国中学生クラブ大会)	大阪府堺市
8/18～21	第3回大会視察・選考 (全国中学校大会)	山口県周南市
8/26～9/2	欧州遠征 (女子)	デンマーク
9/2～10	欧州遠征 (男子)	デンマーク
9/29～10/1	第3回育成合宿 参加者：選手80名	ANTC
12/1～3	第4回育成合宿 参加者：選手80名	ANTC
12/22～27	第4回大会視察・選考 (JOCカップ)	埼玉県さいたま市
2/9～11	第5回育成合宿 (特化プログラム) 参加者：選手90名	ANTC
2/22～24	第6回育成合宿 (U13) 参加者：50名	ANTC

《キャラバン委員会》

3) ナショナルトレーニングキャラバン (NCa)

実施時期	概要	場所
11/17～18	第1回キャラバン in 山口 参加者：選手 158名、スタッフ 14名、補助指導者 30名、保護者 63名	山口県周南市
1/19～20	第2回キャラバン in 和歌山 参加者：選手 117名、スタッフ 15名、補助指導者 16名、保護者 10名	和歌山県岩出市

《発掘委員会》

4) ジャパン・ライジング・スタープロジェクト (J-STAR プロジェクト)

(1) 実行委員会

実施時期	概要	場所
5/30	第1回実行委員会 委員/参加者/受講者人数 12名、事務局/運営スタッフ 3名	熊本県熊本市
10/15	第1回実行委員会 WG 会議	東京都新宿区
3/5	第2回実行委員会 WG 会議 委員/参加者/受講者人数 5名、事務局/運営スタッフ 2名	東京都新宿区
3/18	第2回実行委員会 委員/参加者/受講者人数 13名事務局/運営スタッフ 3名	熊本県熊本市

(2) 測定会

① 測定会 1	東海ブロック	9/22	場所：岐阜県岐阜市
② 測定会 1	九州ブロック	10/13	場所：福岡県福岡市
③ 測定会 1	北信越ブロック	10/14	場所：石川県金沢市
④ 測定会 1	北海道ブロック	10/21	場所：北海道札幌市
⑤ 測定会 1	東北ブロック	10/27	場所：宮城県仙台市
⑥ 測定会 1	四国ブロック	10/28	場所：高知県高知市
⑦ 測定会 1	近畿ブロック	11/3	場所：大阪府泉南郡
⑧ 測定会 1	中国ブロック	11/10	場所：広島県広島市
⑨ 測定会 1	関東ブロック	11/11	場所：東京都豊島区
⑩ 測定会 2		11/24～25	場所：東京都世田谷区

(3) 合宿

① 1期生：2年次第1クール拠点県合宿	6/15～17	場所：熊本県熊本市
② 1期生：2年次第2クール拠点県合宿	9/7～9	場所：熊本県熊本市
③ 2期生：1年次第1クール拠点県合宿	12/24～27	場所：熊本県熊本市
④ 2期生：1年次第2クール拠点県合宿	1/4～7	場所：熊本県熊本市
⑤ 2期生：1年次第3クールNTC合宿	2/10～12	場所：ANTC
⑥ 2期生：1年次 居住地ブロック別トレーニング合宿 (関東ブロックメンバー)	3/9～10	場所：宮城県仙台市
⑦ 2期生：1年次 居住地ブロック別トレーニング合宿 (関西・中部ブロックメンバー)	3/16～17	場所：愛知県豊田市
⑧ 2期生：1年次 居住地ブロック別トレーニング合宿 (九州ブロックメンバー)	3/16～17	場所：福岡県福岡市
⑨ 居住地トレーニング	2/1～3/20	場所：選手居住地等

5) その他

① NF・競技拠点県実務者会議	5/16	場所：JSP0
② 全国理事長会説明	3/17	場所：東京都新宿区

<指導部>

《指導委員会》

1) 指導者組織・資格関連

① 公認上級コーチ養成講習会専門科目講習会

期日：6/29～7/3 場所：ANTC 受講者：25名

② 公認コーチ養成講習会免除適応コース専門科目検定試験

期日：2/1～3 場所：茨城県つくば市 受講者：32名

③ 公認指導員養成講習会 実施都道府県：長崎県・和歌山県・福井県

④ 指導委員会全国会議および研修会（JSP0 指導者資格義務研修）

期日：2/16～17 場所：東京都文京区 受講者：33名

2) 指導者講習会関連

① コーチ・レフェリーシンポジウム

期日：12/8～9 場所：熊本県熊本市 参加者：55名

3) テクニカル・情報発信関連

① 全国大会映像配信

実施大会：全国小学生大会（8月）、JOC ジュニアアリンピックカップ（12月）、
春の全国中学生選手権大会（3月）

② テクニカル・レポート作成

男子・女子アンダーカテゴリー日本代表チーム大会報告と今後の強化に関する課題

③ 小学生用イヤブック作成 全国で活動している小学生全員に配布

4) NTS 関連

① ブロックトレーニング引率指導者講習会（JSP0 指導者資格義務研修）

期日：8月～9月

<普及部>

《学校体育専門委員会》

1) スポーツ庁訪問

期日：4/13

場所：スポーツ庁・政策課

2) 第1回学校体育専門委員会

期日：4/14

場所：ニュー新橋ビル11F

3) 第2回学校体育専門委員会

期日：7/1

場所：札幌国際大学

4) 第21回ハンドボール研究集会

期日：7/1～2

場所：北海道札幌市 参加者：95名

5) 第3回学校体育専門委員会

期日：3/2

場所：東京都世田谷区

6) 第1回ハンドボール授業実践研修会

期日：3/13～15

場所：石川県小松市 受講者：45名

《マスターズ専門委員会》

1) 第1回マスターズ専門委員会

期日：8/24

場所：愛知県豊田市

2) 第26回全日本マスターズ大会（交流型・11人制）

期日：8/3～5

場所：山口県周南市

3) 第26回全日本マスターズ大会（順位決定型）

期日：8/24～26

場所：愛知県豊田市

4) 第2回全日本マスターズ大会（シニア）

期日：11/16～18

場所：愛知県豊田市

5) 第2回マスターズ専門委員会

期日：3/3

場所：山梨県甲府市

《ビーチ専門委員会》

1) 第1回ビーチハンド強化合宿

期日：8/23・24

場所：愛知県碧南市

2) ビーチハンド初心者講習会

期日：8/24

場所：愛知県碧南市

- 3) 第1回ビーチ専門委員会 期日：8/25 場所：愛知県碧南市
 4) 第20回全日本ビーチハンド選手権大会 期日：8/25・26 場所：愛知県碧南市

《キャリアサポート専門委員会》

- 1) ママアスリートの調査（諸事情により中止）
 2) アスリート（リーグ所属）対象ライフスキル実態調査
 （9月配布/1月回収）女子全チーム回収、男子2チームを除き回収
 日本ハンドボール機構と連携
 3) 妊娠・出産選手のサポート：産後評価（骨密度、MRI、骨盤状態、心理、栄養）
 JISSと連携（3月下旬連携協力）

《車椅子専門委員会》

- 1) 第1回車椅子委員会 期日：11/10 場所：徳島県鳴門市
 2) 第16回日本車椅子競技大会 期日：11/10・11 場所：徳島県鳴門市

<育成部>

《小学生専門委員会》

- 1) 第1回小学生専門委員会 期日：5/12・13 場所：ANTC
 2) 第2回小学生専門委員会 期日：8/2 場所：京都府京田辺市
 3) 第31回全国小学生大会 期日：8/2～6 場所：京都府京田辺市
 4) 第10回日韓小学生交流事業（派遣）期日：8/22～26 場所：大韓民国济州島
 5) 第6回全国U-12指導者研修会 期日：10/20・21 場所：ANTC
 6) 第3回小学生専門委員会 期日：10/21 場所：ANTC
 7) 第4回小学生専門委員会 期日：3/9・10 場所：ANTC
 8) ブロック普及推進会議&大会等視察、J級指導員養成講習会
 北海道：6/23・24、東北：6/17（J級）、関東：7/21・22、北信越：10/6・7、
 東海：10/27・28、近畿：8/19、中国：9/30（J級）、四国：9/9（J級）、
 九州：1/12-14

《中学生専門委員会》

- 1) 第9回全国中学生クラブチームカップ 期日：8/13～15 場所：大阪府堺市
 2) 第1回中学生専門委員会 期日：8/17 場所：山口県周南市
 3) 第47回全国中学校大会 期日：8/18～21 場所：山口県周南市
 4) 第2回中学生専門委員会 期日：12/23 場所：埼玉県さいたま市
 5) 第27回JOC大会 期日：12/23～27 場所：埼玉県さいたま市
 6) 第3回中学生専門委員会 期日：3/24 場所：富山県氷見市
 7) 第14回春の全国中学生選手権大会 期日：3/23～27 場所：富山県氷見市

3. 競技運営に関する事業

1) 主要大会の管理・運営 (斜体は国際大会)

月	大会名	開催日程	開催地	結果
4月	第15回東アジアクラブ選手権	4/16-19	沖縄県・那覇市	男子 1;斗山 2;大崎電気 3;琉球 女子 1;SKSG 2;北國銀行 3;ソニー
5月	高松宮記念杯第7回全日本社会人選手権大会	5/16-20	福井県・永平寺町緑の村ふれあい体育センター、北陸電力福井体育館フレア	男子 1;大崎電気 2;トヨタ車体 3:大同特殊鋼 女子 1:北國銀行 2:オムロン 3:ソニー
6月	JAPAN CUP 2018 徳島	6/13	徳島県 ・アスティとくしま	男子 日本代表 24-37 ドイツ代表
	JAPAN CUP 2018 東京	6/16	東京都 ・東京体育館	男子 日本代表22-31ドイツ代表
	JAPAN CUP 2018 高崎	6/23	群馬県 ・高崎アリーナ	女子 日本代表26-20ポーランド代表
	インターナショナルマッチ	6/29・30	東京・大田区立大森スポーツセンター	男子 日本代表31-32ブラジル代表 日本代表29-31ブラジル代表
7月	第38回全国クラブ選手権中地区	7/21・22	長野県・千曲市戸倉体育館、上田市自然運動公園総合体育館	男子 1;FSV TOKAI 2;洛北クラブ 3;HC奈良 女子 1;ナデシコクラブ 2;京都クラブ 3;NTF 立命館守山
	高松宮記念杯第69回全日本高校選手権大会	7/27-8/1	三重県・サオリーナ(津市産業・スポーツセンター) 他	男子 1;県立氷見高 2;県立藤代紫水高 3;北陸高・駿台甲府高 女子 1;佼成学園女子高 2;県立浦添高 3;県立不来方高・明光学園高
8月	第31回全国小学生大会	8/2-6	京都府・京田辺市田辺中央体育館 他	男子 1; 薪小学校HC 2;HC市川 3;川口HC・桃園HC 女子 1;浦城小学校 HC 2;東久留米 HC 3;薪小学校 HC・桃園 HC
	第26回全日本マスターズ大会(交流型)	8/3-5	山口県・キリンビバレッジ周南市総合スポーツセンター	7人制男子交流型: 38 チーム、418人 7人制女子交流型: 12 チーム、133人
	第23回ジャパンオープントーナメント茨城国体リハーサル大会	8/4-7	茨城県・常総市水海道総合体育館、坂東市総合体育館 他	男子 1;フレッサ福岡2; HC和歌山 3;HONDA 女子 1;香川銀行 T・H 2;JJGANG 3;那覇西クラブ
	おりひめ JAPAN トライアルゲームズ 2018	8/5-8	熊本県・熊本県立総合体育館、八代市総合体育館	オムロン 28-32NFHK 女子日本代表 37-23 オムロン 女子日本代表 24-21NFHK
	第9回全国中学生クラブチームカップ	8/13-15	大阪府・堺市金岡公園体育館、堺市立大浜体育館	男子 1;広島メイプルレッズジュニアスポーツクラブ 2;ヴァルト岐阜3;大阪RSC 女子 1;霧島クラブ 2;とびうめジュニア 3;大阪ジュニアクラブ
	第47回全国中学校大会	8/18-21	山口県・キリンビバレッジ周南市総合スポーツセンター	男子 1;神森中 2;大体大浪商中 3;若松中・平田中 女子 1;鶴城中 2;芦城中 3;岩国中・美東中
	第45回全国高等専門学校選手権大会	8/20-22	沖縄県・豊見城市民体育館	男子 1;鈴鹿高専 2;東京高専 3;徳山高専・北九州高専
	第26回全日本マスターズ大会(順位決定型)	8/24-26	愛知県・スカイホール豊田	男子 1;GHBP Ares 2;IMPAL with T 3;大阪330HC 女子 1;MLN沖縄 2;NEWフェイス 3;MMCM

8月	第20回全日本ビーチハンドボール選手権大会	8/25-26	愛知県・碧南緑地ビーチコート	男子 1;BBJ 2;東海Weeds! 3;MJクラブ 女子 1;日本体育大学 2;KUNOICHI 3;東海 Weeds!
	第73回国民体育大会	9/13-17	福井県・福井県営体育館他	成年男子 1;埼玉県 2;愛知県 3;宮城県 成年女子 1;石川県 2;広島県 3;鹿児島県 少年男子 1;富山県 2;福井県 3;東京都 少年女子 1;三重県 2;東京都 3;山口県
10月	第22回日韓スポーツ交流(受入/女子)	10/10-15	熊本県・山鹿市	日本代表 U-16 23-23 韓国代表 U-16
	日韓スポーツ交流2018(受入/男子)	10/18-23	愛知県・ブラザー体育館	日本代表 U-16 16-26 韓国代表 U-16
11月	文部科学大臣杯第15回車椅子競技大会	11/10-11	徳島県・大塚スポーツパーク、アミノバリューホール	1;すわろーず 2;チーム宮城 3;大阪体育大学 APESIA
	高松宮記念杯男子第61回女子第54回全日本学生選手権大会	11/10-14	大阪府・丸善インテックアリーナ大阪 他	男子 1;大阪体育大 2;福岡大 3;早稲田大、中部大 女子 1;大阪体育大 2;東京女子体育大 3;東海大、筑波大
	第2回全日本マスターズシニア大会	11/16-18	愛知県・緑の公園トレーニング場	1;岐阜MHC-A 2;神楽坂フェニックス 3;HC名古屋ATF
	第17回女子アジア選手権	11/30-12/9	熊本県・熊本県立総合体育館 他	1;韓国 2;日本 3;中国 4;カザフスタン
12月	第70回日本選手権大会(女子の部)	12/19-23	大阪府・守口市市民体育館、丸善インテックアリーナ大阪	1;ソニー 2;北國銀行 3;三重バイオレットアイリス・大阪体育大学
	第27回JOCジュニアオリンピックカップ	12/24-27	埼玉県・サイデン化学アリーナ他	男子 1;沖縄県選抜 2;富山県選抜 3;愛知県選抜・埼玉県選抜 女子 1;愛知県選抜 2;沖縄県選抜 3;鹿児島県選抜・山口県選抜
1月	第70回日本選手権大会(男子の部)	1/29-2/3	熊本県・山鹿市総合体育館 他	1;豊田合成 2;トヨタ車体 3;大崎電気・大同特殊鋼
2月	全日本社会人チャレンジ2019	2/9-11	愛知県・一宮市総合体育館 DIADORAアリーナ	1;HC岩手 2;トヨタ自動車 3;プレスド名古屋
3月	第43回日本リーグプレーオフ	3/15-17	東京都・駒沢体育館	男子 1;トヨタ車体 2;大崎電気 3. 豊田合成 4;大同特殊鋼 女子 1;北國銀行 2;オムロン 3;広島メイプルレッズ 4;三重バイオレットアイリス
	第14回春の全国中学生選手権大会	3/23-27	富山県・氷見市ふれあいスポーツセンター他	男子 1;福井明倫中 2;大体大浪商中 3;大分中・氷見北部中 女子 1;小松芦城中 2;横浜岩崎中 3;東久留米西中・氷見十三中
	第42回全国高等学校選抜大会	3/24-29	埼玉県/千葉県・キッコーマンアリーナ他	男子 1;県立香川中央高 2;高岡向陵高 3;県立北陸高・県立不来方高 女子 1;明光学園高 2;白梅学園高 3;県立那覇西高・県立不来方高

2) その他の事業

- (1) JHA 主催大会（ジャパンオープン、国体、日本選手権、春中）、JAPAN CUP の競技運営並びに支援にあたった。
- (2) 平成 30(2018)年度チーム・選手・チーム役員登録業務を遂行した。
海外移籍、国体登録について、登録違反が見受けられたため、注意勧告を行うと共に、再発防止に向け注意文書の作成を行い、2019 年度に向けて公開する。
- (3) JHA オフィシャル・テクニカルデレゲートの任務を発行し、業務に関する周知を図った。また、2019 年度版について、改訂版を発行すべく、内容の見直しを行った。裁定委員会開催基準についても、基準を明確にして、2019 年度から運用できるよう見直しを図った。
- (4) 競技役員の資質向上のため、講習会を開催した。
8 月 茨城県守谷市：ジャパンオープン
10 月 福井県福井市：国体
3 月 富山県氷見市：春中
- (5) 1 月 第 79 回国民体育大会(平成 36(2024)年度)正規視察(滋賀県)を実施した。
- (6) 競技運営連絡協議会を 6 月、10 月、2 月の 3 回実施し、各ブロック協会、各連盟との大会運営、競技運営についての情報共有、相互理解を図ることができた。

4. 審判に関する事業

1) 主な事業 (斜体は国際大会)

月	事業名	開催日程	開催地	概要及び実績
4月	第1回審判委員会(兼第1回競技規則研究委員会・審判指導に関する委員会)	4/14	東京都北区 (△NTC)	出席者：11名 全日本大会審判員研修会打ち合わせ 等
	ブロック審判長会議	4/15	東京都北区 (△NTC)	出席者：競技本部長、審判委員長、ブロック審判長 上級審査会、全日本大会打ち合わせ
	第43回JHLレフェリー 選考研修会	4/14-15	東京都北区 (△NTC)	JHLレフェリー候補者43名、JHL委員長、JHL審判委 員会、ブロック審判長 筆記、体力審査および講義
	第15回東アジアクラブ選 手権	4/19-22	沖縄県那覇市 (沖縄県立武道館)	TD：仲田稔、富田拓、後藤登 レフェリー：太田智子、島尻真理子、古川英樹、村 田哲郎 を派遣
	A級公認審判員審査会 [近畿地区]	4/18-29	京都府 (佛教大学体育館)	受験者8名 審査員3名 を派遣
	A級公認審判員審査会 [東地区]	4/29	埼玉県飯能市 (駿河台体育館)	受験者7名 審査員3名 を派遣
5月	第1回 レフェリーアカデミー	5/3-5	大分県大分市 (大分舞鶴高校)	受講者6名 指導者3名 を派遣
6月	IHF トロフィー	6/10-15	ニューカレドニア	レフェリー：白井健、河合威延 を派遣
	JAPAN CUP 2018 徳島 男子日本代表 vs ドイツ代表	6/13	徳島県徳島市 (アスティとくしま)	JHAO：高野修 レフェリー：太田智子、島尻真理子 を派遣
	JAPAN CUP 2018 東京 男子日本代表 vs ドイツ代表	6/16	東京都新宿区 (東京体育館)	JHAO：福島亮一 レフェリー：池淵智一、檜崎潔 を派遣
	B級公認審判員審査会 [東地区]	6/15-17	青森県野辺地町	受験者12名 審査員3名 を派遣
	第2回 競技規則研究委員会	6/17	東京都北区 (△NTC)	委員4名、審判委員長 競技規則問題集編集作業
	JAPAN CUP 2018 高崎 女子日本代表 vs ポーランド 代表	6/23	群馬県高崎市 (高崎アリーナ)	JHAO：高野修 レフェリー：本田昭太、田淵元雄 を派遣
	全日本大会担当レフェリ ー研修会(兼第2回レフェ リーアカデミー)	6/23-24	東京都北区 (△NTC)	受講者120名 運営9名 レフェリーアカデミー 6名
	全国審判長会議	6/24	東京都北区 (△NTC)	参加者35名 講義(吉田敏明氏、坪井雅典氏)
	AB級公認審判員審査会 [関東地区]	6/23-24	千葉県鎌ヶ谷市	受験者 A級12名 B級30名 審査員 6名 を派遣
	IHF トロフィー	6/28-7/2	香港	レフェリー：池淵智一、檜崎潔 を派遣
7月	第6回東アジア(U-22) 選手権	7/2-8	香港	役員：仲田稔、TD：富田拓 レフェリー：古川英樹、村田哲郎 を派遣
	第21回女子ジュニア世界 選手権	7/1-14	ハンガリー	レフェリー：本田昭太、田淵元雄 を派遣
	第16回男子ジュニアアジ ア選手権	7/15-25	オマーン	TD：仲田稔 レフェリー：白井健、河合威延 を派遣
	A/B級公認審判員審査会 [中地区]	7/28-30	長野県千曲市	受験者 A級6名 B級12名 審査員 4名 を派遣

8月	おりひめ JAPAN トライアルゲームズ 2018	8/5-8	熊本県八代市・熊本市	JHAO:福島亮一、鶴田祐一郎 レフェリー:古川英樹、村田哲郎、米村宏之、樋口聡、重村達浩 を派遣
	第7回 女子ユース世界選手権	8/7-19	ポーランド	レフェリー:太田智子、島尻真理子 を派遣
	第3回 レフェリーアカデミー	8/13-14	大阪府堺市	受講者8名 指導者3名 を派遣
	アジア競技大会	8/18-9/2	インドネシア・ジャカルタ	TD:後藤登 レフェリー:池淵智一、檜崎潔、太田智子、島尻真理子 を派遣
9月	男子ユースアジア選手権	9/16-26	ヨルダン	レフェリー:太田智子、島尻真理子 を派遣
	AB級公認審判員審査会 [西地区]	9/22-24	宮崎県宮崎市	受験者 A級10名 B級21名 審査員 7名 を派遣
10月	第4回 レフェリーアカデミー	10/13-14	福岡県宗像市	受講生7名 指導者4名 を派遣
	AHFレフェリーコース	10/18-27	中国	レフェリー:古川英樹、村田哲郎 (合格)
11月	B級公認審判員審査会 [西地区] (7月代替審査会)	11/23-24	広島県呉市	受験者 6名 審査員 3名 を派遣
	第17回女子アジア選手権	11/30-12/9	熊本県熊本市・山鹿市・八代市	TD:仲田稔 レフェリー:池淵智一、檜崎潔、太田智子、島尻真理子 を派遣
12月	コーチ・レフェリー シンポジウム	12/8-9	熊本県熊本市 (熊本県立総合体育館)	運営スタッフ:本田昭太、冨田拓
	第2回審判委員会	12/22	大阪府	競技本部長、審判委員長、副委員長、競技規則研究 委員長、アカデミー担当、審査担当、審判総務 H30年残事業、審判合同委員会内容検討
	第3回 競技規則研究委員会	12/23	大阪府	競技本部長、審判委員長、委員2名 2019年度審判員の目標 内容検討 他
1月	NTS センタートレーニング	1/6・14	東京都北区 (ANTC)	1/6 レフェリー:本田 昭太 を派遣 1/14 レフェリー:島尻真理子 を派遣
	審判合同委員会	1/26-27	東京都北区 (ANTC)	競技本部長、審判合同委員会委員、審判総務 アドバイザー 計22名
2月	社会人連盟レフェリー コース	2/9-11	愛知県一宮市	受験者2名 審査員3名 を派遣
	第5回 レフェリーアカデミー	2/23-24	愛知県豊田市	受講生8名 指導者3名 を派遣
3月	第6回 レフェリーアカデミー	3/16-17	東京都世田谷区	受講生8名 指導者1名 を派遣

2) その他の事業

- (1) 文書の発送受付ならびに各種登録、会場手配、その他の諸手続(総務専門委員会)
- (2) 審判研修用資料の企画・制作(審査指導専門委員会、競技規則研究専門委員会)
- (3) 各全日本大会における審判技術の実態把握(審判委員長、副委員長、連盟審判長)
- (4) 国際情報収集と競技規則書(インドア、ビーチ)他解説書等の作成(国際専門委員会、競技規則研究専門委員会)
- (5) 他委員会等との連携強化(審判委員長、副委員長、日本リーグ審判専門委員会)

3) A/B級公認審判員審査結果

	平成 28(2016)年度		平成 29(2017)年度		平成 30(2018)年度	
	A 級	B 級	A 級	B 級	A 級	B 級
審査申請者	41名	86名	54名	53名	47名	85名
書類不備	0名	0名	0名	0名	0名	0名
欠席	2名	10名	6名	3名	3名	4名
筆記試験不合格	4名	3名	3名	6名	2名	4名
実技試験不合格	8名	8名	15名	8名	27名	14名
体力試験不合格	2名		3名	1名	2名	0名
合格者	30名	66名	32名	35名	16名	63名

※平成 30(2018)年度 A級：実技・体力・筆記不合格0名，筆記・実技ともに不合格2名
 実技・体力ともに不合格1名
 B級：筆記・実技ともに不合格0名

4) 公認審判員登録状況 ()内は女性

級	平成 28(2016)年度	平成 29(2017)年度	平成 30(2018)年度
終身	91名 (1名)	82名 (0名)	79名 (1名)
国際	12名 (2名)	12名 (2名)	12名 (2名)
A 級	318名 (13名)	328名 (17名)	337名 (19名)
B 級	438名 (26名)	449名 (28名)	432名 (28名)
C 級	894名 (123名)	871名 (129名)	903名 (142名)
D 級	1,645名 (358名)	1,625名 (351名)	1,544名 (322名)
計	3,398名 (513名)	3,367名 (527名)	3,307名 (514名)

※2018年12月17日現在

5. 強化・育成・競技・審判に関する事業

《強化育成戦略委員会》

(1) 強化・育成戦略委員会会議

- ① 第1回：4/7 JHA 会議室にて開催。2018年度計画について、NTS・NCa・NTAの準備状況報告、育成委員会からボールサイズ変更に関する議論、体力科学委員会からNTSの新たな体力推薦基準づくりと融合型クロスフィット・トレーニングの提案に関する議論、強化委員会からの現状報告、ビーチハンドについての強化と育成での位置づけに関する議論、強化・指導・審判の三者合同による「モダンハンドボール」への取り組み等の報告がなされた。
- ② 四半期ごとにチェックする計画であったが、国内外での多くの行事が重なったため新年度に入って開催。

(2) モダンハンドボール検討プロジェクト会議

強化・指導・審判の三者合同によるコーチ・レフェリーシンポジウムを12/9女子アジア選手権時に熊本県立総合体育館にて開催。NTSにおける指導内容と強化との関連性、ならびに「モダンハンドボール」の解釈について強化部と審判部で議論。

6. 国際に関する事業

1) 日本代表チーム・役員・レフェリー等の派遣及び海外チーム招聘等に関する事業

日程	カテゴリー/参加者	大会名称	開催地
4月	男女リーグ代表チーム	第15回東アジアクラブ選手権	沖縄・那覇市
	役員	E A H F 会議	同上
6月	女子代表	欧州遠征	オランダ、デンマーク
	男子代表	JAPAN CUP 2018 (徳島、東京)	徳島・徳島市、東京・新宿区
	女子代表	JAPAN CUP 2018 (高崎)	群馬・高崎市
	男女代表	日韓定期戦 2018	韓国・ソウル
	男子代表	国際親善試合 (ブラジル)	東京・大田区
	男子ジュニア U-21	カタール遠征	カタール・ドーハ
7月	女子ジュニア U-20	女子ジュニア世界選手権	ハンガリー・デブレツェン
	男女アンダーU-22	東アジア (U22) 選手権	香港・九龍
	男子ジュニア U-21	男子ジュニアアジア選手権	オマーン・サラーク
	男女学生 U-24	ハンガリー遠征	ハンガリー・ブダペスト
	男女学生 U-24	世界学生選手権	クロアチア・リエカ
	男子代表	男子欧州遠征	ドイツ・テューゲル
	女子代表	女子欧州遠征	デンマーク・コペンハーゲン
8月	女子代表	おりひめトライアル	熊本・八代市ほか
	女子ユース U-18	女子ユース世界選手権	ポーランド・キェルツェ
	男女小学生 (U-12)	第9回日韓小学生交流	韓国・済州島
	男女高校生	日韓中ジュニア交流協議会	茨城県
	男女代表	アジア競技大会	インドネシア・ジャカルタ
	男女 U-15	NTA 欧州遠征	デンマーク
9月	男子ユース U-19	男子ユース欧州遠征	バーレーン・マナマ
	男子ユース U-19	男子ユースアジア選手権	ヨルダン・アンマン
10月	男女 U-16	日韓スポーツ交流 (訪韓)	韓国・昌原市
	男子 U-16	日韓スポーツ交流 (受入)	愛知・名古屋市
	女子 U-16	日韓スポーツ交流 (受入)	熊本・山鹿市
	男子代表	男子欧州遠征	フィンランド、スウェーデン
11月	女子代表	女子アジア選手権	熊本・八代市ほか
12月	男子代表	男子欧州遠征	ポーランド、スイス
	男女ビーチ	高雄カップビーチハンドボール	台湾・高雄
1月	男子代表	男子世界選手権	ドイツ、デンマーク

2) 国際会議等ならびに派遣に関する事業

(1) I H F 関係

- ① 第2回 I H F 理事会 (クロアチア・ザグレブ)
- ② 第3回 I H F 理事会 (カタール・ドーハ)
- ③ I H F 理事会などの議事内容の翻訳作業を実施
- ④ 各種大会や役員・レフェリー派遣業務の連絡調整を実施
- ⑤ I H F に関する事務的なエントリー手続き・諸連絡を実施

(2) A H F 関係

- ① テクニカルデレゲートならびにレフェリーの派遣に関する手続きを実施
- ② 各カテゴリーのアジア選手権参加のサポートを実施
- ③ A H F 会議議題・議事録の翻訳作業を実施

(3) E A H F 関係

- ① 4月 E A H F 会議 (沖縄・那覇市)
- ② 7月 E A H F 会議 (香港・九龍)
- ③ E A H F 会議議題・議事録の翻訳作業を実施
- ④ E A H F に関する諸連絡を実施

3) その他の事業

- (1) 国際競技力向上を目的とし、全ての国際大会への手続きを、事務局の国際対応機能を中心として対応
 - 出場権を得た全ての大会にチームを滞りなく派遣することができたほか、関連する諸外国等機関との連携強化を図ることができた。
- (2) I H F、A H F および諸外国との関係強化および連携を目的とし、I H F/A H F 総会等へ出席
 - 国際的動静を把握し、各国際交渉の素地の形成に向けた機能強化が図れた。
- (3) I H F 国際コーチコースの受け入れ・運営を担当
 - 高い国際的信頼を得るとともに、次回以降の国際行事受け入れの期待感を得られた。
- (4) 上記コースへの対応に伴い、I H F 役員への対応とディスカッション機会を得て、I H F との具体的な連携強化について合議
 - 男子世界選手権ワイルドカード獲得に向けた布石を築くことができた。
 - 熊本開催の世界選手権に向けた、関連行事等への協力体制ビジョンが共有できた。
 - 東京オリンピックパラリンピックに向けた、関連行事等への協力体制ビジョンが共有できた。
- (5) JOC 各種ミーティングへの参加
 - (1) 各競技団体との連携強化を確認し、東京オリンピックパラリンピックへの協力体制を中心とし、国際力向上の機能強化を推進できた。

7. 事業企画に関する事業

1) JAPAN CUP 2018

東京体育館では観客数 4,606 人と多くの方にご来場いただいたが、開場時間等の運営面で課題を残した。

6/13 男子 日本代表 vs ドイツ代表

会場：アスティとくしま（徳島県徳島市）、観客数：1,634 人

6/16 男子 日本代表 vs ドイツ代表

会場：東京体育館（東京都新宿区）、観客数：4,606 人

6/23 女子 日本代表 vs ポーランド代表

会場：高崎アリーナ（群馬県高崎市）、観客数：1,402 人

2) インターナショナルマッチ

大田区と連携してブラジル男子代表を招聘して国際親善試合を開催。29 日は大田区在住・在勤・在学の方を無料招待した。

この試合後の 7/6 に独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）とブラジルオリンピック委員会による復興支援プロジェクトに参加。東松島市に訪問し、ハンドボール体験プログラムや災害復興プログラム等に協力した。

6/29 男子 日本代表 vs ブラジル代表

会場：大森スポーツセンター（東京都大田区）、観客数：415 人

6/30 男子 日本代表 vs ブラジル代表

会場：大森スポーツセンター（東京都大田区）、観客数：427 人

3) おりひめトライアルゲームズ 2018

デンマークの女子クラブチーム（ニュークビンファルスター）を招聘し、開催地の日本リーグチームであるオムロンを加えて国際親善試合を開催。（主管：熊本県協会）

4) 第 17 回女子アジア選手権

2019 年女子世界選手権熊本組織委員会・熊本県協会と協働で開催。世界選手権に向けたリハーサル大会として大会運営面での経験の積み上げを図った。

5) 第 70 回日本ハンドボール選手権大会

男子代表が第 26 回世界選手権（ドイツ、デンマーク）に出場することとなり、代表強化の観点より、男子の部を世界選手権後の日程に変更して男女別開催とした。

女子の部（12/19～12/23）は大阪協会、男子の部（1/29～2/2）は熊本県協会への委託方式で開催した。

2019 年度についても同様に男女別開催とすることを決定した。

8. 総務に関する事業

1) 諸会議の開催

(1) 評議員会 6/30(東京)

(2) 理事会 5/12(臨時・東京)、6/10(東京)、10/13(東京)、
2/16(東京)

(3) 常務理事会 4/7(東京)、5/12(東京)、7/7(東京)、9/1(東京)、11/17/(東京)、
1/14(東京)、3/3(書面開催)

(4) 全国理事長会議 9/12(福井)、2/17(東京)

担当常務理事より主な実施事業の報告が行われ、意見交換を行った。

2) 事務局体制の強化

- (1) 所属元企業の協力の下、総務担当常務理事が出向形態で常勤化。
- (2) 日本リーグ参加企業より出向形態でビジネス人材3名の派遣を受け、事業活動やマーケティング活動を中心に体制強化。
- (3) 日本スポーツ協会やJOC、他競技団体等との連携の観点より事務所移転を決定。
時期：2019年10月、場所：Japan Sport Olympic Square（東京都新宿区霞ヶ丘）

3) 組織体制の整備

- (1) 規程に基づきコンプライアンス委員会、倫理委員会を組成。協会内・外に内部通報窓口を設置、運用開始。
- (2) 事業計画推進室を廃止し、会長直下の経営戦略委員会設立準備室を設置。（2019年度に委員会として発足予定）
- (3) ガバナンス強化の一環として諸規程の改定作業を継続中。

4) 「がんばれハンドボール20万人会」サポート会

- (1) JHAにおける位置付け（後援会またはファンクラブ）の整理を検討開始
- (2) 事業内容の見直しに着手

平成30(2018)年度サポート会員総数（2019年3月31日現在（カッコ内は前年比）

特別会員	0名	(▲1)
グランド会員	193名	(+6)
フレンド会員(旧ファミリー会員)	3名	(▲2)
ジュニア会員	2名	(▲5)
都道府県フレンド会員(旧都道府県ファミリー会員)	277名	(+103)
都道府県グループ会員	9,002名	(▲1,064)
総数	9,505名	(▲813)

9. 財務・会計に関する事項

2018年度は、収入面においてはマーケティング収入や参加料収入等の事業収益が286,739千円と前年度比57,045千円増加。また、受取補助金等も231,419千円と前年比25,009千円増加したこともあり、経常収益は前年度比86,038千円増加の936,949千円となった。

支出面においては熊本での女子アジア選手権開催にかかる委託費や代表監督・コーチ・スタッフの謝金や強化事業数の増加により事業費支出が893,935千円と前年度比181,492千円増加。一方、管理費支出は、前年度に生じた臨時理事会等の役員参加会議増加による旅費交通費や、第三者委員会・特別倫理委員会開催に伴う弁護士費用等の特殊要因がないため122,663千円と前年比13,019千円の減少となり、経常費用全体では164,467千円増加の1,016,666千円となった。その結果、当期経常増減額は78,428千円減少の△79,717千円となった。

特定資産は、積立目的で使用した151,035千円（日本協会主催国際大会積立金61,099千円、アジア・世界選手権出場積立金28,944千円、欧州遠征費用積立金29,492千円、東アジアクラブ選手権積立金31,500千円）を取崩し、今後支出が予定される特定費用準備資金として76,417千円（日本協会主催国際大会積立金36,000千円、アジア・世界選手権出場積立金10,210千円、欧州遠征費用積立金19,735千円、2019年女子世界選手権積立金10,472千円）を積立てたことにより、特定資産残高は、74,618千円減少し、166,945千円となった。

10. ガバナンス・コンプライアンスの強化

1) 規程・組織の整備

規程類

- ・コンプライアンス規程、内部通報制度運用規程、倫理規程、就業規則の見直し（6月）
- ・情報管理規程の制定（2月）

組織

- ・コンプライアンス委員会（6月）、内部通報窓口（6月）、倫理委員会（10月）設置
- ・2019年7月の組織改正で「インテグリティ本部」を立ち上げ予定

2) 実効性向上への取り組み

インテグリティ研修会の実施

- ・第2回全国理事長会にてJSCによる研修会を実施。
テーマ「スポーツ組織・関係者に求められるインテグリティとは」

委託事業に関する監査の実施

- ・発掘育成事業（NTSブロックトレーニング）における監査を実施。

11. 広報に関する事業

1) 広報

(1) 主な広報活動

- ① 定期記者発表2回（日本リーグ、日本リーグプレーオフ）
- ② 臨時記者発表3回
（5/29 おりひめトリアル記者発表、6/11 JAPAN CUP 記者発表、11/15 女子アジア選手権記者会見、12/17 男子世界選手権会見）
- ③ 代表合宿メディア公開3回
- ④ ハンドボールサロン開催4回（6, 7, 10, 3月）
- ⑤ プレスリリース（メールによるリリースも含む）
（男女日本代表情報、各カテゴリー大会・国内大会結果配信、2019 女子世界選手権関連他）

(2) マスコミ（テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ライター他）の個別取材調整

- ① テレビ取材 28件
（フジテレビ「vs 嵐」東江雄斗選手、NHK「スポーツイノベーション」宮崎大輔選手等）
- ② ラジオ取材・出演 2件
（ラジオ日本「ムーンラウンジ八代」強化担当アナリスト嘉数陽介氏、文化放送「スポーツ DASH NEXT」宮崎大輔選手）
- ③ 新聞・雑誌取材 37件
（日経新聞・信太弘樹選手、毎日新聞・ダグル・シグルドソン監督、ウルリック監督、原希美選手・鈴木スポーツ庁長官対談等）
- ④ その他 13件（共同通信社・田口専務理事、池原綾香選手等）

(3) 試合放映

- ① テレビ中継 4回（計13試合）

6/13, 16, 23	: JAPAN CUP 2018（徳島、東京、高崎）	3試合	Jスポーツ
12/7~8	: 第17回女子アジア選手権 準決勝、決勝	3試合	Jスポーツ
12/23	: 第70回日本選手権大会（女子の部）決勝	1試合	NHK Eテレ
3/15~17	: ANA CUP 第43回日本リーグプレーオフ 全6試合		Jスポーツ

- ② インターネット配信 3回(計11試合)
 - 6/29, 30 : インターナショナルマッチ 2試合
 - 2/2~3 : 第70回日本選手権大会(男子の部) 準決勝、決勝 3試合…A Iカメラ
 - 3/28, 29 : 第42回高校選抜大会 男女 準決勝、決勝 6試合 …A Iカメラ

- (4) 肖像規程策定選手、監督などの肖像
使用及び運用について規程策定
選手などのマスコミ出演、広告起用に関する管理作業

- (5) 映画製作特別協力

- ① 脚本監修
- ② 俳優指導 (3/18~26・ANTC)
- ③ その他(大会視察、高校訪問取材、協賛社紹介、各種打合せ)

- (6) 気運醸成

- ① 2019 熊本世界選手権
渋谷区事業(リアル観戦)、高体連代表者会議、日本協会主催試合会場等でのPR活動
- ② 2020 東京オリンピック(渋谷区との連携)
出張授業5校(6/20~7/19)、リアル観戦事業(7/21)、フェスタ原宿(12/1)、
SHIBUYA de 500(3/12 VR体験、宮崎大輔選手トークショー)、卓球&ハンドボール
イベント(3/23 東江雄斗選手・吉野樹選手トークショー)

2) インターネット

- (1) 協会ホームページによる情報発信
 - ① 更新頻度の増加(Facebookを含む)
 - ② コンテンツの充実(「我らハンドボール応援団」など)
- (2) WEB情報サポート企業との積極的な情報交換
- (3) 動画配信等によるFacebookフォロワー増加への取り組み
- (4) YouTubeチャンネルの活用(インターネット動画配信)

3) 機関誌

- (1) 当初計画通り、年間12回の毎月発行を実施
- (2) 大会報告については、日本協会ホームページに掲載されている大会の戦評およびスコアを有効に利用し、編集業務を軽減
- (3) 施策方針・理事会・各委員会組織からの情報発信として、会議録の掲載のほか事業計画、医事委員会、審判委員会、指導委員会などからの方針や報告を適宜掲載

1.2. マーケティングに関する事業

1) マーケティング収入

収入予算(140百万円)に対して実績107%

2) 協賛社との契約

- (1) 既存オフィシャル・パートナー、オフィシャル・スポンサーの契約継続
- (2) オフィシャル・スポンサー新規2社契約
- (3) JHAフレンズ新規1社契約
- (4) オフィシャルツーリスト4社による旅行会社登録制度の運用開始
- (5) オフィシャルサプライヤー新規2社契約

1 3. アスリート支援に関する事業

《キャリアサポート専門委員会》

- 1) ママアスリートの調査（諸事情により中止）
- 2) アスリート（リーグ所属）対象ライフスキル実態調査
（9月配布/1月回収）女子全チーム回収、男子2チームを除き回収
日本ハンドボール機構と連携
- 3) 妊娠・出産選手のサポート：産後評価（骨密度、MRI、骨盤状態、心理、栄養）
JISSと連携（3月下旬連携協力）

《アスリート委員会》

- 1) アスリート委員会の立ち上げ
 - ・JOC等上部組織からの情報収集のため関係者へのヒアリングを実施
 - ・委員選定を開始し、候補者の絞り込みを実施

1 4. 日本リーグに関する事業

1) 大会運営

- (1) 全試合無事開催
- (2) 台風24号の影響で4試合を無観客試合で実施
（9/30 刈谷市体育館2試合、豊田合成アリーナ2試合）
- (3) 観客者数（無観客試合を除く）
試合数：男104試合(▲4)、女108試合(±0)、男女計214試合(▲4)
総観客者数：男73,456人(▲6,439)、女70,832人(+2,325)、男女計144,288人(▲4,114)
1試合平均観客数：男706人(▲34)、女656人(+16)、男女計681人(▲9)

2) SNSを活用した発信強化

- (1) Facebookの試験運用を開始。試合情報、試合結果、記録得点達成者のコメントを配信し、ファンへのアピールを行った。

3) 日本ハンドボール協会（JHA）強化本部との連携

- (1) JHA強化本部とリーグ事務局、代表チームとリーグ各チームとの連携を密にすることで、女子熊本世界選手権ならびにオリンピックにて「強い日本」を目指す。
- (2) ナショナルウィーク間のブレイク入れるなど、JHA強化本部と連携したスケジュール調整を実施。

4) リーグの組織整備

- (1) GM会の回数を増やすとともに機能充実を図り、リーグ委員会のみならず常任委員会での重要案件の権限の明確化により各会議体での規律向上を行った。
- (2) 会議開催実績
GM会 6/29、9/28、12/12
リーグ委員会 5/12、7/15、12/15

5) リーグの所属チーム増

- (1) 男子新規参入ゴールデンウルヴス福岡への支援を行い、2019年度新規参入を果たす。

6) リーグ法人化

- (1) リーグ法人化のスケジュールを作成。Jリーグ・Bリーグと異なるハンドボールリーグオリジナルの「企業チームとクラブチームの併存のあり方」を見出す。

(2) 法人化検討委員会を設立。各チームへの説明を行い、2019年6月のJHA理事会承認を経て法人設立を予定。2021年より新法人による新リーグ開催を目指す。

第43回大会観客者数

男子

チーム	1試合平均			合計			試合数			
	第43回	対前年	第42回	第43回	対前年	第42回	第43回	対前年	第42回	
ホ ム	トヨタ自動車東日本	595	▲ 51	544	3,568	▲ 241	3,809	6	▲ 1	7
	大崎電気	761	▲ 76	837	4,566	▲ 1,293	5,859	6	▲ 1	7
	北陸電力	415	▲ 9	406	2,905	▲ 1,557	4,462	7	▲ 4	11
	大同特殊鋼	917	▲ 32	885	5,500	▲ 1,582	7,082	6	▲ 2	8
	トヨタ車体	931	▲ 68	863	3,722	▲ 4,047	7,769	4	▲ 5	9
	豊田合成	666	▲ 89	577	3,993	▲ 1,781	5,774	6	▲ 4	10
	湧永製薬	644	▲ 133	511	5,154	▲ 49	5,105	8	▲ 2	10
	トヨタ紡織九州	1,027	▲ 185	842	7,189	▲ 387	7,576	7	▲ 2	9
	琉球コラソン	1,035	▲ 162	1,197	8,279	▲ 1,295	9,574	8	▲ 0	8
ホーム計	774	▲ 52	722	44,876	▲ 12,134	57,010	58	▲ 21	79	
第3地域	621	▲ 168	789	28,580	▲ 5,695	22,885	46	▲ 17	29	
男子合計	706	▲ 34	740	73,456	▲ 6,439	79,895	104	▲ 4	108	

女子

チーム	1試合平均			合計			試合数			
	第43回	対前年	第42回	第43回	対前年	第42回	第43回	対前年	第42回	
ホ ム	プレステージ・インターナショナル アランマーレ	581	▲ 7	588	5,225	▲ 71	5,296	9	▲ 0	9
	北國銀行	1,308	▲ 489	819	9,155	▲ 961	8,194	7	▲ 3	10
	飛騨高山ブラックブルズ岐阜	780	▲ 295	485	5,462	▲ 1,321	6,783	7	▲ 7	14
	HC名古屋	533	▲ 57	476	4,265	▲ 971	5,236	8	▲ 3	11
	三重バイオレットアイリス	514	▲ 316	830	4,110	▲ 3,360	7,470	8	▲ 1	9
	大阪ラヴィッツ	1,140	▲ 232	908	7,980	▲ 714	7,266	7	▲ 1	8
	広島メイプルレッズ	797	▲ 286	511	6,378	▲ 247	6,131	8	▲ 4	12
	オムロン	720	▲ 170	890	5,761	▲ 1,359	7,120	8	▲ 0	8
	ソニーセミコンダクタ マニュファクチャリング	635	▲ 70	565	4,444	▲ 487	3,957	7	▲ 0	7
ホーム計	765	▲ 112	653	52,780	▲ 4,673	57,453	69	▲ 19	88	
第3地域	463	▲ 119	582	18,052	▲ 6,998	11,054	39	▲ 20	19	
女子合計	656	▲ 16	640	70,832	▲ 2,325	68,507	108	▲ 1	107	

	1試合平均			合計			試合数		
	第43回	対前年	第42回	第43回	対前年	第42回	第43回	対前年	第42回
男女合計	681	▲ 9	690	144,288	▲ 4,114	148,402	212	▲ 3	215

* 第43回大会男子ホームゲーム2試合・第3地域2試合は台風による無観客試合は試合数に含んでいません。実際の試合数合計は216試合。

* 第42回大会女子ホームゲーム1試合は台風による無観客試合は試合数に含んでいません。実際の試合数合計は216試合。

15. 2019 世界女子選手権プロジェクト

- 1) JHA と熊本県、熊本県協会とのタイアップ
⇒ 実施計画策定専門委員会を立ち上げ (JHA、熊本県協会、熊本県、熊本市、山鹿市、八代市)
- 2) JHA・熊本県国際スポーツ大会推進事務局との情報交換会の実施
- 3) JAPAN カップ 2018 (徳島、東京、高崎) を開催
- 4) おりひめ JAPAN トライアルゲームズ 2018 (8/5～8/8) を開催
- 5) 女子アジア選手権 (11/30～12/9) を開催
- 6) 大会 PR 活動
(1) 各種イベントでの PR (日本選手権、全日本社会人選手権、日本リーグプレーオフ等)
- 7) 全国応援組織の設立
(1) 福井俊彦氏 (元日本銀行総裁、界友会 (ハンドボール経験者の会) 会長) を発起人として、「2019 女子ハンドボール世界選手権大会の大成功を支援する会」を設立。
設立の会が 12 月 18 日に東京・京王プラザホテルで開催され、政財界、マスコミ、スポーツ関係者約 150 名が参加。
- 8) I H F 視察 (4/12～4/16)、ラガルデール社 (以下「L S」) 視察 (4/11～4/15)
(1) スローオフミーティング～視察 (会場、宿舎) ～総括ミーティング
I H F 視察委員 Per Bertelsen、Patric Strub
L S 社視察委員 Sven Harke、Peter Angell、Carsten Richtr

16. 東京オリンピック・パラリンピックプロジェクト

- 1) 東京 2020 組織委員会による日本協会イベントの視察対応
(1) Japan Cup 2018 東京 : 2018 年 6 月 16 日 東京体育館
(2) 第 17 回女子アジア選手権 : 2018 年 12 月 7 日 熊本
- 2) Japan Cup 2019 東京 / 男子日本選手権 (東京テストイベント) の開催に向けて東京 2020 組織委員会との定例会を実施し、開催に向けた協議・調整を実施
- 3) 第 26 回男子世界選手権視察
(1) 東京オリンピックにおいて導入が検討されているタイミング・スコアリングシステムの運用視察
(2) 競技会場運営及び競技運営、スポーツプレゼンテーション等の視察を実施
- 4) 競技ボランティア募集に向けた関係団体との調整
(1) 競技本部及び全日本学生ハンドボール連盟と連携し、競技本部の会議や全日本学生ハンドボール選手権等において、東京 2020 組織委員会の大会ボランティア募集概要、競技ボランティアの活動事例等を説明し、競技ボランティアとしての参画を促した
- 5) 東京オリンピックに関する大会準備状況を常務理事会及び理事会において報告
(1) ハンドボール競技に関する準備状況の報告 : 競技日程、競技会場及び練習会場等大会に関する準備状況の報告 : 観戦チケットの販売スケジュール、大会ボランティア等

17. 日本選手権に関する事業

1) 男女別開催の実施

男子代表が第26回世界選手権（ドイツ・デンマーク）に出場することとなり、代表強化の観点より、男子の部を世界選手権後の日程に変更。

2019年度についても同様に男女別開催とすることを決定した。

2) 第70回日本ハンドボール選手権大会（女子の部）

2018年12月19日～23日、大阪ハンドボール協会への委託方式にて開催。

【会場】 大阪府・丸善インテックアリーナ大阪、守口市市民体育館

【結果】 1位：ソニーセミコンダクタマニファクチャリング、2位：北國銀行、
3位：三重バイオレットアイリス、大阪体育大学

3) 第70回日本ハンドボール選手権大会（男子の部）

2019年1月29日～2月3日、熊本県ハンドボール協会への委託方式にて開催。

【会場】 熊本県・山鹿市総合体育館、山鹿市鹿本体育館

【結果】 1位：豊田合成、2位：トヨタ車体、
3位：大崎電気、大同特殊鋼

18. 国際大会に関する事業

1) JAPAN CUP 2018 徳島

【日程】 6月13日

【会場】 徳島県・アスティとくしま

【結果】 男子 日本代表 24（11-21、13-16） 37 ドイツ代表

2) JAPAN CUP 2018 東京

【日程】 6月16日

【会場】 東京・東京体育館

【結果】 男子 日本代表 22（9-18、13-13） 31 ドイツ代表

【備考】 代表戦前には、エキジビジョンマッチ 関東学連 東西対抗戦を開催

3) JAPAN CUP 2018 高崎

【日程】 6月23日

【会場】 高崎市・高崎アリーナ

【結果】 女子 日本代表 26（11-13、15-7） 20 ポーランド代表

【備考】 代表戦前には、小学生エキジビジョンマッチを開催

4) インターナショナルマッチ（男子・日本代表 vs ブラジル代表）

【日程】 6月29日、30日

【会場】 東京都大田区・大田区大森スポーツセンター

【結果】 29日：日本代表 31（13-16、18-16） 32 ブラジル代表

30日：日本代表 29（15-16、14-15） 35 ブラジル代表

5) 第17回女子アジア選手権

【日程】 11月30日～12月9日

【会場】 熊本県・熊本市、八代市、山鹿市

熊本県立総合体育館、八代市総合体育館、山鹿市総合体育館

【結果】 1位：韓国、2位：日本、3位：中国、4位：カザフスタン

5位：オーストラリア、6位：イラン、7位：香港、8位：インド

9位：シンガポール、10位：ニュージーランド